

2007年8月17日

# 投資脳のつくり方

～日経平均株価急落をふまえて～

株式会社 ファンドクリエーション

インベストメントアナリスト 木下晃伸(きのした・てるのぶ)

当資料は、証券アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、証券取引法に基づく開示資料ではありません。当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、弊社は一切責任を負いません。当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。当資料は、弊社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

突然の経済変動・・・ 上海総合株価指数急落  
サブプライムローン問題

問題が深いことには気づいていたが・・・  
世界的な株価急落の前に逃げ出すことができず

では、いま何を考えなければならないのか？

# いま、考えなければならないこと

何を考えなければいけないか

過剰流動性 = 金利

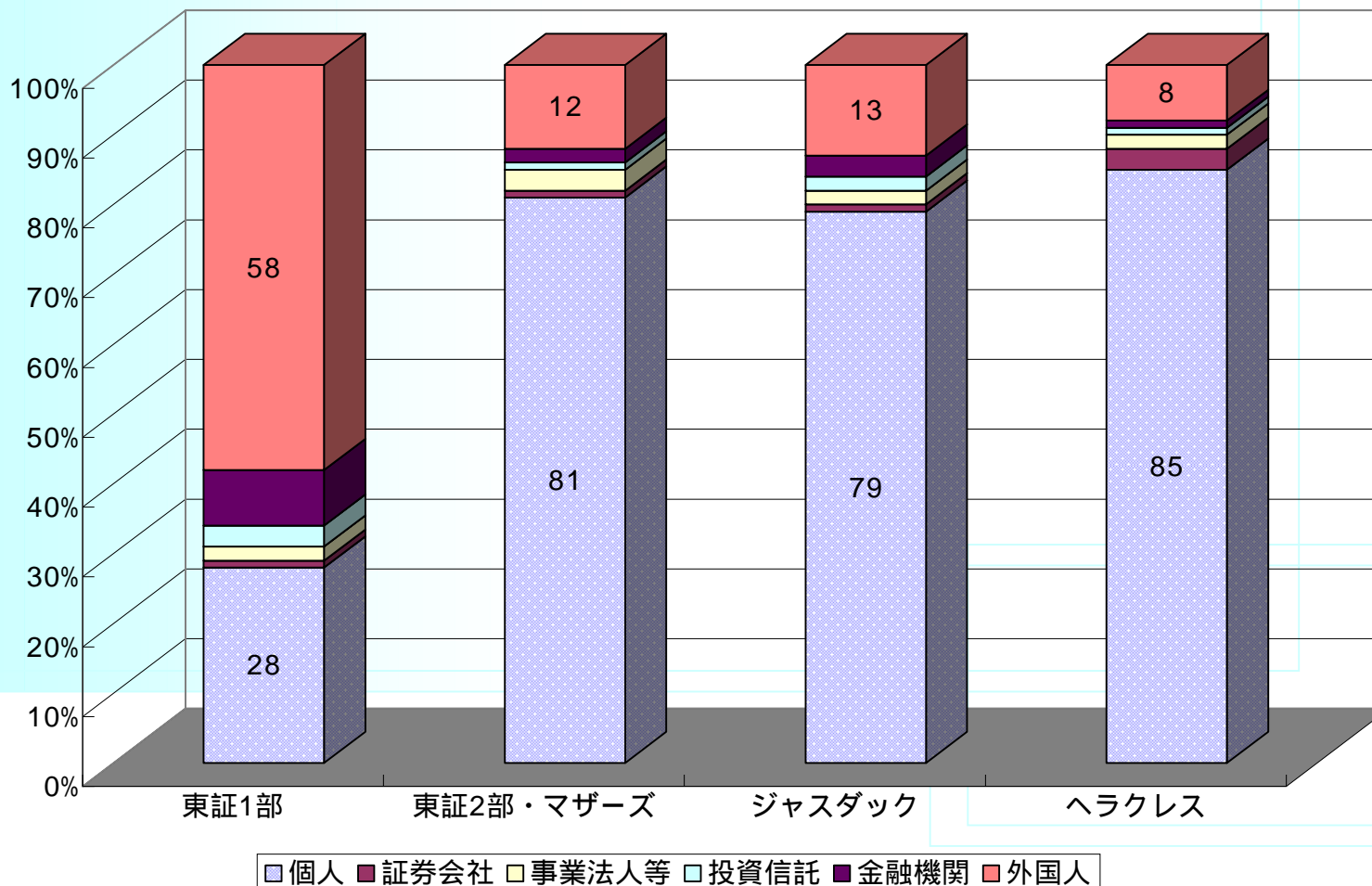
サブプライムローン問題 = 米国不動産実需

米国株は、これからが本格的な下落局面

# 誰が売買しているかを熟知する

## 外国人投資家はまず「米国外」から逃げ出す

(出所)東京証券取引所、委託者別売り買い合計売買代金(2006)より



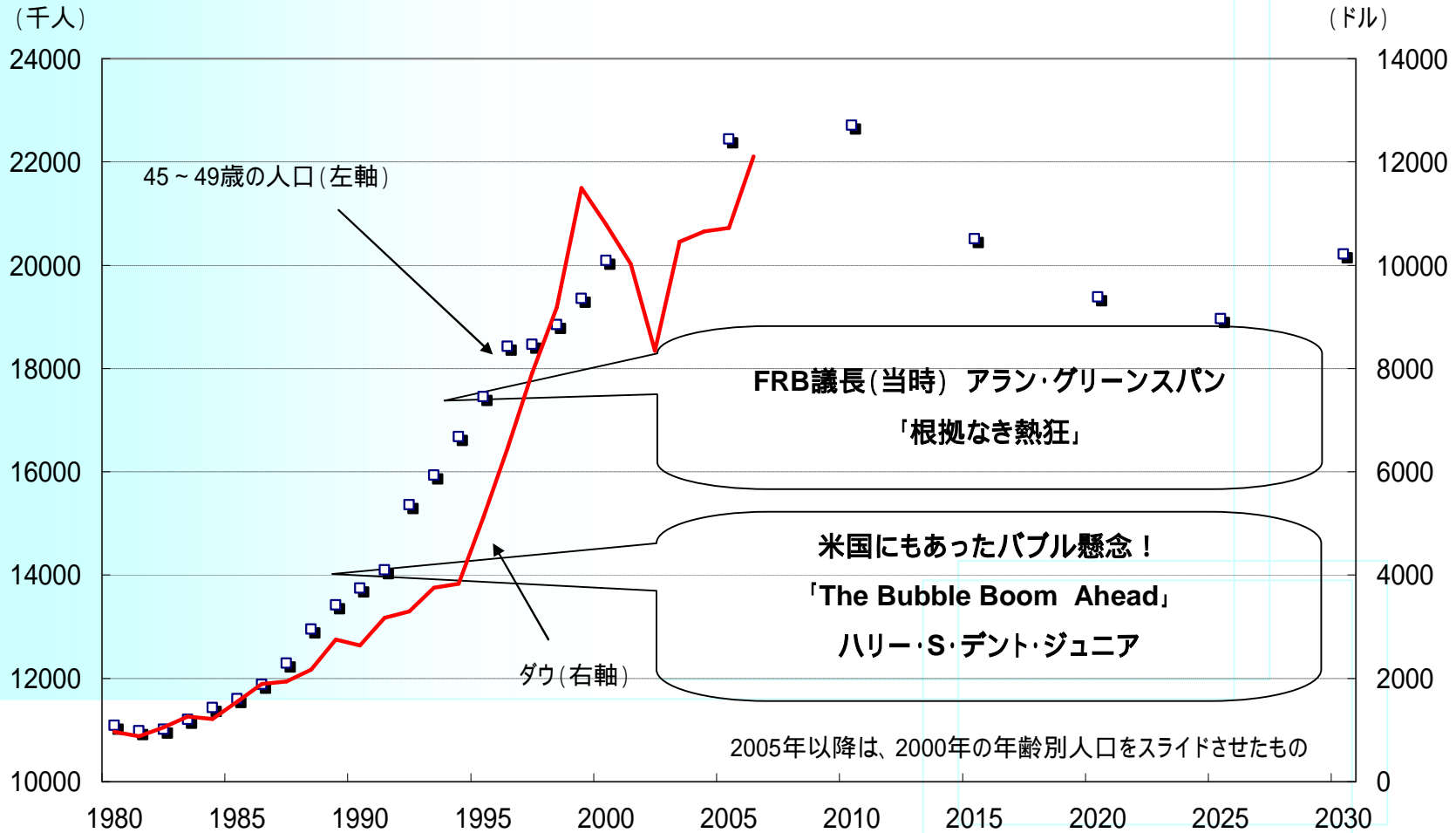
当資料は、証券アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、証券取引法に基づく開示資料ではありません。当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、弊社は一切責任を負いません。当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。当資料は、弊社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

# お金は「円キャリー」で得ていた

- だから、為替が急激に「円高」に振れる
- 過剰流動性を生み出していたのは、世界的な低金利
- 米金利を引き下げても、米国株の下落はとまらない
- なぜなら、実需が悪化していくから
- それだけ、不動産はバブルだった

# NYダウはいずれ下落する

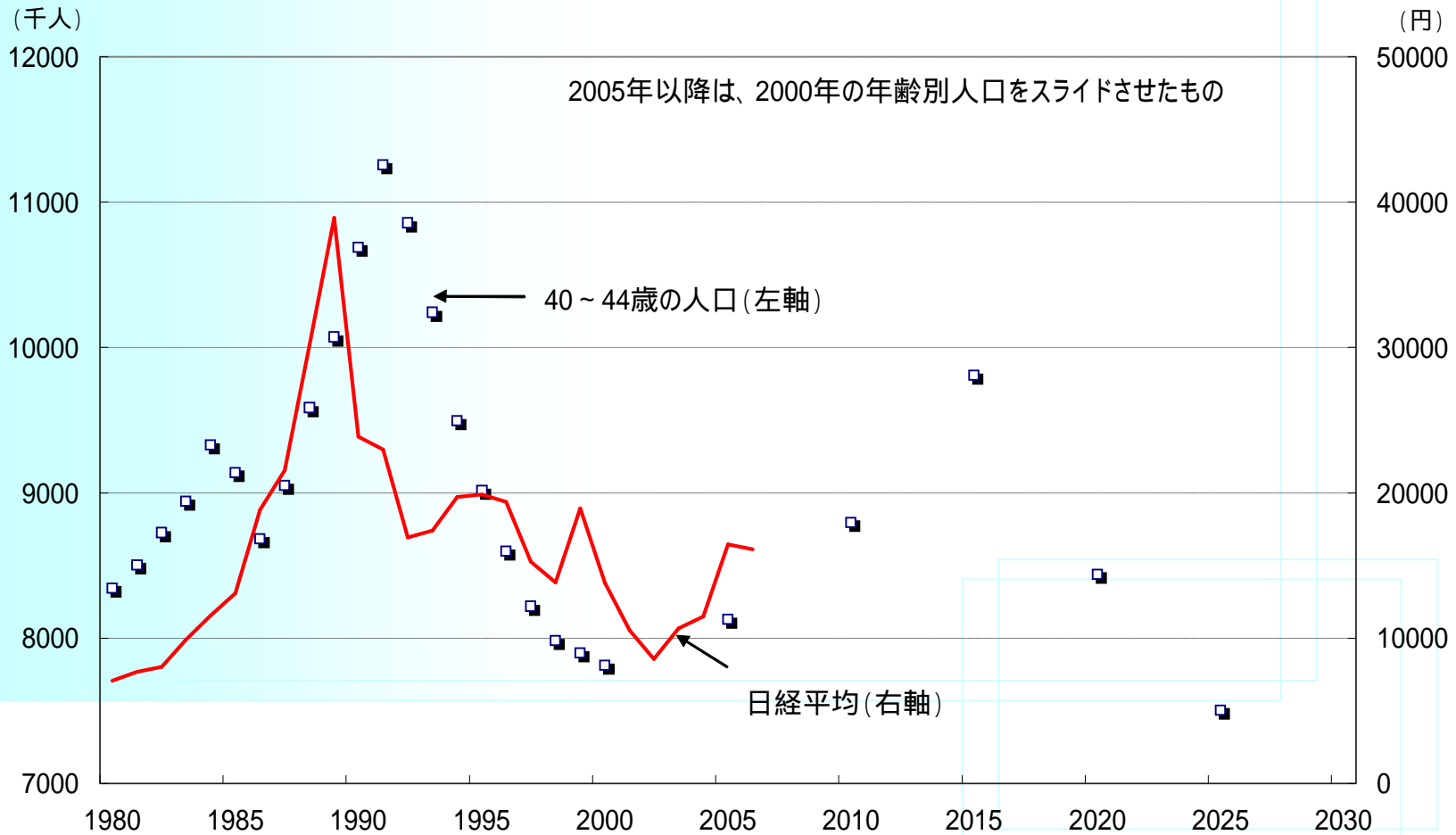
## サブプライムローン問題は、実需に根ざしている



(出所) 米国Census、Bloombergよりファンドクリエーション作成

# しかし、日本株はいずれ反転する

## 逆算することの重要性

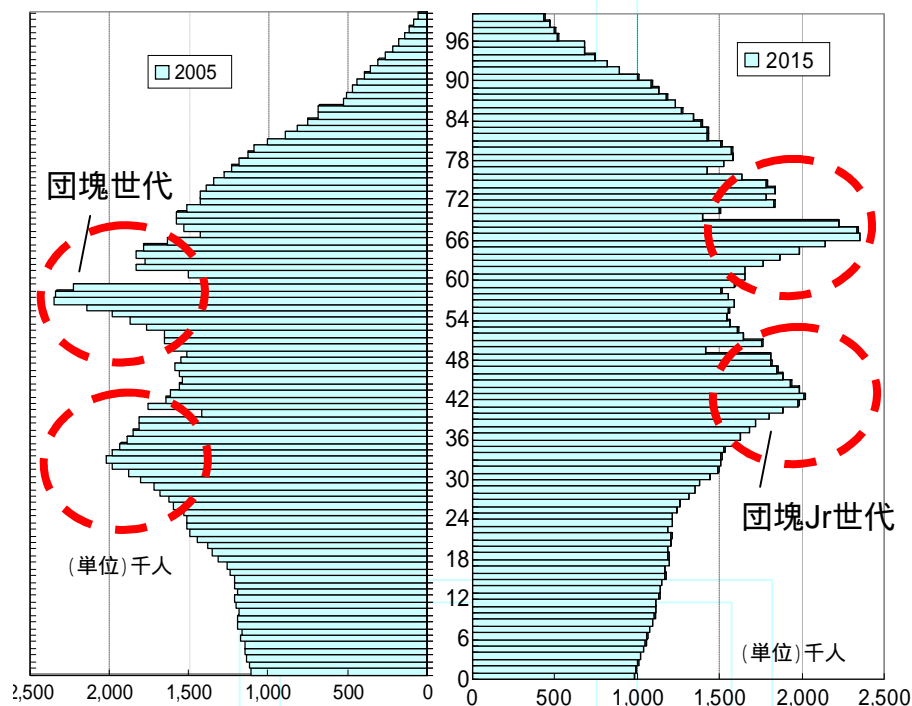
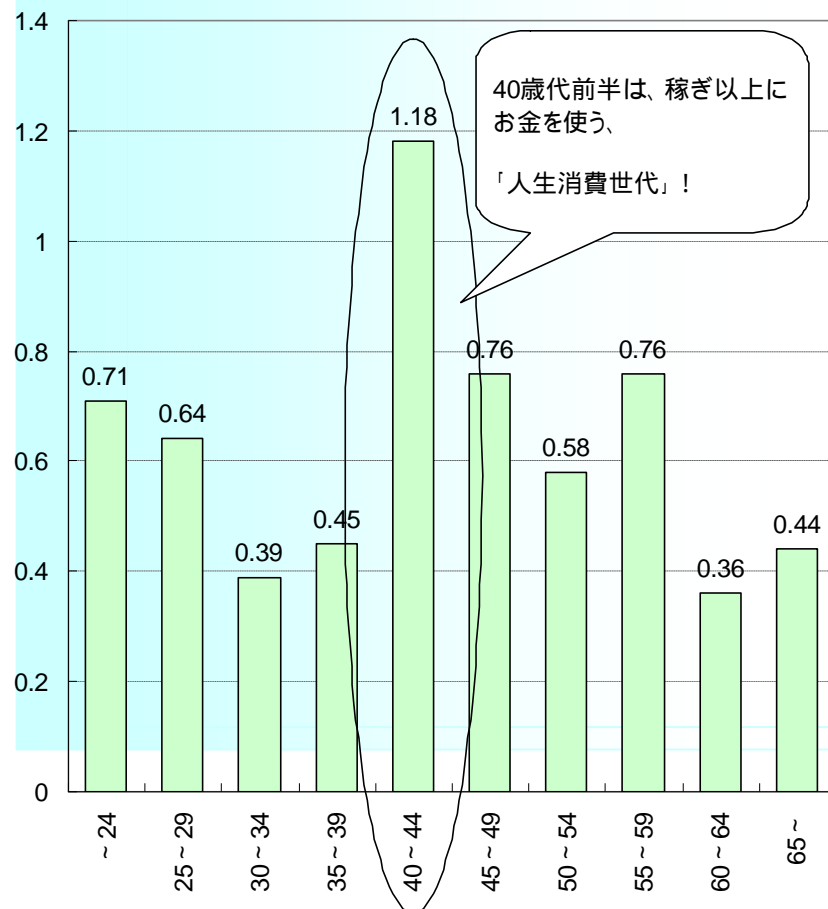


(出所) 総務省、Bloombergよりファンドクリエーション作成

当資料は、証券アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、証券取引法に基づく開示資料ではありません。当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、弊社は一切責任を負いません。当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。当資料は、弊社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

# お金の消費がカギを握る

40歳代はお金を使う「人生消費世代」 キーワードは「団塊（だんかい）」



現在25歳から35歳の「団塊Jr.世代」は1,400万人  
2015年にかけてお金を使う40歳代前半は拡大する!

(出所)総務省「家計調査」より、みずほ証券推計の「限界消費性向」

(出所)国立社会保障・人口問題研究所データよりファンドクリエーション作成

当資料は、証券アナリストの木下晃伸が、投資環境についての情報提供を目的として作成した資料であり、証券取引法に基づく開示資料ではありません。当資料に基づいてとられた投資行動の結果については、弊社は一切責任を負いません。当資料の内容は当資料作成時のものであり、将来予告なく変更される事があります。当資料は、弊社が信頼性の高いと判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料におけるデータ・分析等は過去の一定期間の実績に基づくものであり、将来の投資成果及び市場環境の変動等を保証もしくは予想するものではありません。

## 「みんなの意見」が「集団の力」を発揮する4つの条件

### 多様性

それぞれの構成者が、仕事、学歴、家族構成など、どれだけ異なるバックグラウンドを持っているか。

### 独立性

構成者がお互いにどれだけ「赤の他人」か。

### 分散性

それぞれの構成者がどれだけ地理的、心理的に散らばっているか。

### 集約性

～ のような違いがあるにもかかわらず、構成者が同一の目的達成に向けて、同じことを考える時間、場所があるか。

(出所) 「The Wisdom of Crowds (邦訳『「みんなの意見」は案外正しい』)」を参考にファンドクリエーション作成

# 投資をする場合の「資金管理」とは？

## 4つの市場に集中投資する

個別株に投資をする  
(新興市場等含む)

日経平均株価に投資をする  
(持ちっぱなし)

個別株に投資をする  
(騰落レシオ利用)

日経平均株価に投資をする  
(騰落レシオ利用)

(出所) ファンドクリエーション作成

< 1943年 > ブライス・ライアン、ニール・グロス

「新しい雑種採取のとうもろこしを取り入れる過程の研究発表」

事実 / 新しいとうもろこしを植えれば、収穫量は2倍になる

結果 / 最初の農家が初めて植えてから、その地域の農家の半数が新種のとうもろこしを使うまでに9年もかかった。

行動 / ほとんどの農家はそれについて独自に調べようとはしなかった。  
他の農家が成功するまで待って、自分も新しいとうもろこしを植えた。  
成功を見ても、畑全体ではなく、作付面積を小さくして試してみた。  
自分が納得してから、初めて畑全体にとうもろこしを植えた。

農家にとって栽培品種の選定は死活問題！決定が重要であるほど決断が遅れる！

- サブプライムローン問題は尾を引く
- 結果的に、NYダウは下落する
- 外需依存型の投資は避ける
- 内需依存型の投資で狙うのは「小売」
- 日本株は反発する

*FC* FUND CREATION